

妙義① ～表妙義 中間道～[編集する](#)

2013 年 05 月 12 日 01:22 [友人の友人まで公開](#)

17 view



長年、裏妙義を縦走してみた、でも単独で行く気はなく…。そこで岩場好きな M 夫妻に声をかけてみると
…。

裏ではなく、表妙義の稜線を歩かないかと提案される。。。💧 (M 夫妻にとって、裏妙義にいい思い出がないらしい。)

ただ、表妙義の稜線も興味はあるが、段階を踏んでから歩きたいからこそ、簡単に入山はしたくないと伝え
ると、それなら今回は中間道を歩きましょう、ということになりました。

松井田駅で拾ってもらい、道の駅みょうぎ付近に車を止め、妙義神社からスタート👊

妙義神社には、稜線コースへのルート案内もあるが、本日歩くのは中間道。ここは「関東ふれあいの道」にも
なっており、比較的整備されたルート。しかししばらくは誰とも会わず(→おそらく高低差からすると逆ルー
トで歩く人のほうが多いのかも!?)、ほぼ貸切状態でした👊



第一見晴からの眺め。ほっと一息✨



本読みの僧。

確かに、僧侶が本を読んでいるような姿の岩でしたが、真ん中の本は、後付けされた岩でした(笑)

その後、中間道の中間地点にあるあずまやで、M 夫妻がコーヒーを淹れてくれて、休憩。今日はなにせ時間があるので、のんびり山行☕

後半戦は



長い長い階段や



頭の高さスレスレの大岩をぐぐり、

そして本道からちょっとはずれた辺りに、それはありました。



大砲岩。



天狗のひょうてい。

ここの一帯は「奇岩の庭園」と呼べそうなくらい、独特な形をした岩場のオンパレード。中学生の集団もやってきて、みないろんな岩場に乗っては得意顔。なかなか賑わってました🍷



大砲から見下ろした、妙義のふもと。桜も明るい！

※ちなみに妙義では、毎年 5 月第 1 週目に、桜祭りが行われているとのこと。

そして、この奇岩から少し降りたところに



第四石門。不思議な形だ👀👀

ここはテーブルとベンチがあり、多くの登山客の休憩スポット。

そして、ここから始まるのが



石門群。大自然のアスレチックだね。



第二石門にある「つるべさがり」。ここ、小学生もひょいひょいと下っていました👍



同じく第二石門にある「かにのよこばい」。ここにも別の小学生がすたすたと通過💡

登山客が多いと渋滞が起きやすいけど、慎重に歩けば問題なく通過でき、無事に中間道も終了👌

その後、一度登山口に下山後、車道を歩いて、中ノ岳神社へ。まず目に飛び込んできたのが👉👉



日本一のだいこく様。高さ 20m、重さ 8.5 トンあるそう。また通常の大黒様は木槌を持っているそうですが、ここのだいこく様は剣を持ち、厄や悪霊を払ってくれるんだとか。まあとにかくインパクトのあるだいこく様でした👉



中ノ岳神社への本殿は、年季が入った、昔ながらの長い石段を登ります。

さらにその先の轟岩を目指し、最後にもう一度、



どーん、と聳え立つ妙義の山並みを満喫して、下山。道の駅までは、車道と林道を下っておしまい。

とにかく、のんびりと春の山を楽しめた 1 日でした🍀

8:00 妙義神社

8:30 第一見晴

9:10 本読みの僧

9:30-9:50 あずまや

10:40-10:55 大砲岩界限

11:00-11:20 第四石門

11:55 石門群登山口

12:00 中之嶽神社

12:20 轟岩

12:30-13:05 中之嶽神社(昼食)

14:10 道の駅

そして M 夫妻には松井田駅まで送っていただき別れたものの、まだまだ体力に余裕を感じるとともに、妙義まで来てここで帰るのはもったいないと思い…、

密かに決めていた計画、翌日は裏妙義縦走を実現するぞー👉

(つづく)

グルメ情報～🍽️

妙義といえば、横川💡

横川といえば、峠の釜めし💡💡

峠の釜めしといえば、おぎのや!!💡💡💡

というわけで、おぎのやが展開するレストラン「群馬の台所」が高崎駅ビル内にあり、食べてきました～。



峠の釜めし+天ぷら定食。

なかなかの食べ応えでした🍽️

妙義② ～裏妙義縦走～[編集する](#)

2013 年 05 月 13 日 12:23 [友人の友人まで公開](#)

18 view



(つづき)

前日は急遽高崎駅付近の安宿をとり、美味しい峠の釜めし定食も食べ、あとは長年夢見てきた(=3年前は大寝坊で歩きそびれた)裏妙義の稜線に備えてゆっくり休むだけだー、と思ってベッドに入ったその瞬間、何か大切なものを忘れていたような気がしてきたら…。

はっ!! 🐼

マイラバのライブ!! 🎵

チケットを押さえてたのに、なんで本気で忘れてたんだろ…。と血の気がひいていくのでありました。。 🏠

こうなると、マイラバと裏妙義を両天秤にかけてしまう、我が欲望…。

悩みぬいた末、縦走はやめ、短縮ルート「横川駅～(御岳経由)～丁頭の頭～(鍵沢ルート)～横川駅(温泉なし)」に変更し、これで急いで帰れば、夜のライブは間に合うはず! 🤔

【2013.4.28】

翌朝は快晴ナリ🌞

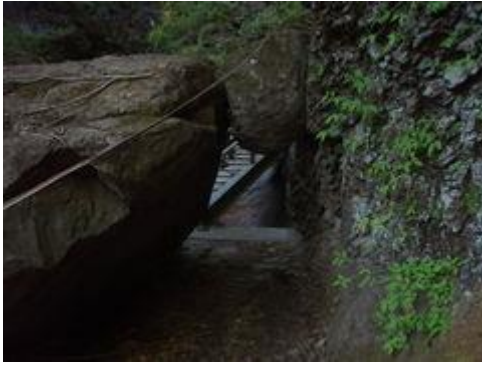
登山口にて、とある登山客(以下 A さん)に出会う。A さんは 2 週間後に山仲間を裏妙義に連れてくる予定だから、今日は鎖場や休憩ポイント等の下見に来たとのこと。「誰かを連れてくる」ことに対して、安全意識を持つのは素晴らしい👍 さらに A さんはかなりスタスタ歩く人だけど、着いていける範囲で同行させてもらうことにした。仲間ができて、一安心👌

ちなみに、この登山口でヘルメットを出そうとしたが、A さんに「ヘルメットは、落石などには有効だが、裏妙義の場合は落ちたら最期だから、ヘルメットはたいして役に立たないだろう」と言われる…。なんだか妙に納得し、ヘルメットは再びザックの中に。これでいいよね...💡?

歩き始めてすぐに出てきた



「おつむごちうい」が、ほほえましい。



安産岩

さらには、



こういう笑顔が好きである。恵比寿さんに安全祈願 ✨

まず、歩き始めから鼻曲りまでは、



とにかく急登。

岩場も至る所にあるせいか、昭文社の地図上では破線ルートになっているが、



危険箇所にはかなり親切なほどに鎖が設置されているし、多くの人が入山しているのも伝わってくる。これならこのまま行けそうな予感 😊

登山口から 30 分は登りに登り続け、脚力を使った～、ってな気分になったところで、



鼻曲り。確かに登山道から出っ張った、鼻先のような所だと言えそうが、ここに立つと



見えたのは、横川駅付近の鉄道文化むら。岩壁から眺めるというよりは、直下に見下ろせるといった感じ

👁👁

鼻曲りを過ぎてからは、アップダウンの繰り返し。岩場が多いイメージだったけど、



こういう尾根沿いの、のどかな登山道も出てくるので、なんだか安心。

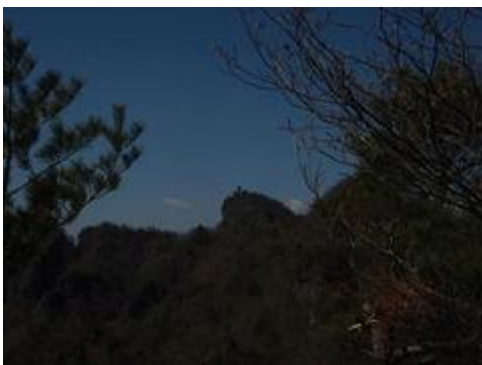


岩場の陰の花たちシリーズ。たぶんサクラソウ。
(正式名称は、きよぽんに訊いてください。)

その後、いくつかの岩場を越えたところで、開けたのが



御嶽山頂。これには神社と書かれてあるけど、この石碑と小さな祠があるのみ。



御嶽山頂から見た、丁須の頭。今からここを目指します！

その後も、



例によって、鎖を頼りながりの登りや、



時には岩場だけど鎖がない場所もあり、Aさんは次回連れてくる仲間を思いながら、「膝を使って登らせよう」等と試行錯誤していた。

さらに歩けば



丁須の頭もどんどん近づき、



丁須の頭の直下にある長い鎖場を登り切れば 📍



バンザイ頭。浅間山が美しい 🌄



西側に視界を移せば、まだまだ続く裏妙義稜線ルート。

で、おれにはマイラバが待っているので🎵 ここから鍵沢ルートで下山する予定だったが、なんだかここまで快調に来すぎてしまったのである。Aさんというペースメーカーがいてくれたお陰かもしれないが、予定よりも1時間以上早く到着でき、まだまだ歩けそうな予感。もちろん安全を意識すれば、やはり下山となるのだが...😓

人間の欲望は恐ろしい。この後の稜線ルートも慎重に歩いて、急いで下山すればマイラバに間に合うかも!?💡

ってなわけで、休憩中のAさんとお別れ。この先の稜線も行っちゃいます!👉

で、行くと決めたらさっさと行こう、と思いつつ、歩き始めてから5分くらいしたところで、ん!?



鎖が垂れ下がっている。でもその先が見えない。



ちょっと先に進んで見下ろすが、まだ垂れ下がっている。



角度を変えて見てみれば、ほおー。垂直に垂れ下がっちゃった💡?

そうです、ここが噂の、チムニー内 20m の鎖場。まあここまで来たら一気に行くしかないと覚悟を決め、そろりそろりと下り始める。長かったけど、足を置く場所が所々にあったかな。



20m 下り終えてから見上げた鎖。もちろん上部は見えない。

今思えば、ここがいちばんの難所だったと思う。この先何度も鎖場に出くわしたけど、



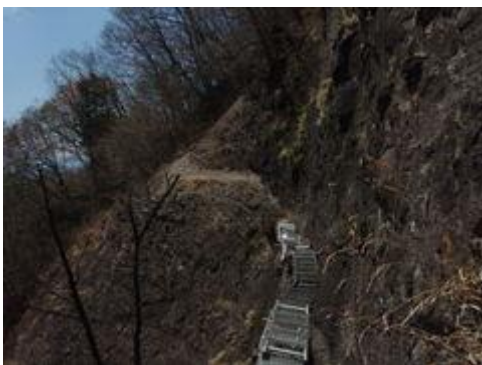
表面が平らな岩に、長く垂れ下がった鎖場では、



ご丁寧に、足の乗せ場が削られていたりする。ここまで整備されているなら、ひと安心 😊



岩場の水平移動も、鎖が設置されているので、万一足を滑らせても、たぶん大丈夫!?



トラバース用の足場が確保されている箇所も。見た目はやや錆びてて、ぐらっとくる箇所もあったけどね 🙏



何の変哲もなさそうな画像ですが、おれにとっては、こういう落ち葉の上をサクサク歩くのも好きなので、パチリ📷

そして何だか開けた場所に着けたので、たぶんここが風穴尾根ノ頭。狭いけど休めそうな場所なので、ここでマイラバも気になりつつ、10分休憩。パンでおなかを満たす🍞



たぶん、風穴尾根ノ頭は、この標識が目印！



今歩いてきた方角を眺める。左が赤岩、右が丁須の頭。

そして、あとは下山だと気合を入れる。



ここから先は岩場もなく、やがてスギ林に潜る。

分岐点の三方境では、谷急山方面への道標もあるので、またいつか！ ってことで、国民宿舎方面へ曲がる。巡視道と呼ばれるこのルートは、かなりゆるやかだったので、走れそうなところは走る。待ってろよ akko! 🗺️👉👈

途中いくつかの標識で



「相馬岳」の文字が消されている。確かにその方角に相馬岳はないが、紛らわしい。ただの看板の使い回しなのだろうが、消すなら完全に消してくれー!!

そしてようやく、



林道に出た!!

なのに…。

最後の最後で、道迷い...💧 この林道は坂道で、初めは自然に右へ下り始めたのだが、地図を見直せば国民宿舎へは林道に出てから左だと描いてある。となれば、地図を信じて、この林道をやれやれと思いながら登り始めるのだが...

舗装されたアスファルトは、やがて石ころの道になり、それが荒れに荒れた道となり、道がなくなり...。おかしい...😓

というわけで引き返し、先ほどの分岐も通過してさらに下り始めると、丁須の頭から下ってくる別の登山口も登場し、国民宿舎への方角表示も示されていた。

うーん、どうも腑に落ちない。。。おれの地図が、2005 年版だからいけなかったのだろうか。しかも、akko が待っているというのに、こんな所で 15 分のロスはでかい...😓

でもまあ無事に国民宿舎に到着。着いて早々タクシーを呼び、ダッシュで温泉に入り、しかもタイミング良く、タクシー相乗りの人も見つかり、予定した電車にも間に合う。ああ、おれ、やればできるじゃん!!👏👏👏

2013.4.28 裏妙義

7:40 横川駅

7:55 登山口(あさおの吊り橋)

8:25 鼻曲り

8:50 産泰山

9:25-9:30 御嶽

10:15-10:20 丁須の頭

10:50 赤岩基部

11:35-11:45 風穴尾根ノ頭

11:55 三方境

12:40 林道

(12:40-12:55 道迷い)

13:00 国民宿舎

🔥国民宿舎裏妙義 (¥400)

※露天なし。浴室内も特に展望なし(窓の開放も厳禁)

でも、湯加減が熱くもなくぬるくもなく、ゲー。

※国民宿舎→横川駅。タクシーだと約 15 分。約¥2,300。

帰宅後は急いで着替えて、恵比寿ガーデンプレイスへ。惜しまれるのは、会場が全席自由で、かなり若い整理番号のチケットを持っていたのに、開場時間には間に合わずで、結局かなり後方の席に...😓 でも、akko の声で癒されたし🎵 リクエストしたあの曲も聴けたから👉 よしとしよう🎵

そんなこんなで、長い長い一日が、おしまい!!

そして最後に。



いずれは表妙義も歩くぞ!👊